

一般質問項目

平成28年1月14日
大阪維新の会 大内啓治

○ 前文

○ 今後の市政運営について

財政状況をどのように認識しているのか。また、新たな財源を生み出すため、具体的にどのような改革を進めていくのか、市長の所見は。

○ 市民サービスの拡充について

(1) 「子どもの教育・医療 無償都市大阪」の理念・考え方について
市長が理想としている「無償都市」の理念・考え方について、市長の所見は。

(2) こども医療費助成の拡充と幼児教育の無償化について
取り組みの趣旨と、実現に向けたスケジュールについて、市長の所見は。

(3) 子どもの貧困対策について
経済的に恵まれない家庭の子どもたちへのサポートの充実に向け、どのような対策チームを設立し、どのように取り組んでいくのか、市長の所見は。

(4) 中学校給食について
任期中に全ての中学校で学校調理方式での給食導入を打ち出されているが、どのような思いで前市長が掲げた目標期限を前倒しして進めるのか、市長の所見は。

(5) 高齢者施策について
特別養護老人ホームの待機者解消に向けて、どのように取り組むのか。また、解消後も特別養護老人ホームの整備を進めていく必要があると考えるがどうか。あわせて、地域密着型特別養護老人ホームの整備が重要であると考えているが、市長の所見は。

(6) 防災対策について
防災インフラの耐震・液状化対策のための財源確保をどのように進めていくのか。また、災害時に国・府・市が情報を一元化し迅速に対応するため、訓練を重ねていく必要があるのではないか。さらに、府市連携はもちろんのこと、広域的な視点での住宅の確保が必要と考えるが、市長の所見は。

(7) 防犯対策について
市民生活の安全安心を守るため、防犯カメラの設置方針を決め、計画的に大幅な増設を行うべきと考えるが、市長の所見は。

○ 改革について

(1) 技能労務職員数・給与の見直しについて
新たに策定する改革プランの中で技能労務職員の人員や給与の見直しについて、しっかりと目標設定していく必要があると考えるが、市長の所見は。

(2) ICTの活用について
ICTを活用して大阪の活力を生み出すために実行組織の強化が必要であると考えているが、市長の所見は。

(3) 地下鉄・バス事業の民営化について

地下鉄・バス事業の民営化は最終的に市民生活の利便性向上に資するものであり、早期に実現するべきであると考えているが、市長の所見は。

(4) 水道事業の経営形態見直しについて

早期実現に向けた手続きを進めるべきと考えるがどうか。また、実現に向けて、国の支援策を引き出すことが重要と考えるが、市長の所見は。

(5) 大学と研究所の府市統合について

二重行政の解消に向けた、市立・府立大学の統合、市立工業研究所と府立産業技術総合研究所との統合、市立環境科学研究所と府立公衆衛生研究所の統合・独法化のメリットや効果について、市長の所見は。

○ 成長戦略について

(1) 観光振興とベイエリアについて

観光振興の観点から、ベイエリアの可能性をどのように考え、今後、どのように活性化を図っていくのか、市長の所見は。

(2) クルーズ客船誘致について

府市の連携を強め、必要な施設整備やセールス活動にスピード感を持って取り組んでいく必要があると考えるが、市長の所見は。

(3) 大阪の経済成長とトップセールスについて

世界に通用する中小企業の「ものづくり」の力や、大阪の魅力について発信していくべきであるが、市長が描くトップセールスはどのようなものか、市長の所見は。

(4) 副首都推進本部について

副首都推進本部の意義や副首都の定義などについて、市長の所見は。

(5) 市民との対話、住民意見の集約について

都構想の設計図の修正に向けた市民との対話、意見集約について、具体的にどのような形で実施しようとしているのか、市長の所見は。

○ 結 文